

# 第7回研究集会

第4号通信

新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～



日本LD学会第7回研究集会第4号通信をお届けいたします。  
今号は、シンポジウム話題提供でご登壇くださる小野純平先生のご紹介と、小野先生にお話いただくKABC-IIについて特集いたします。

## 登壇者紹介 ③

シンポジウム話題提供: **小野純平先生** (法政大学教授)

KABC-IIは、子供の認知能力と学力を同一の検査で比較することができるなど類を見ない特徴を持つ検査です。小野純平先生は、日本版KABC-IIの著者のお一人であり、また、日本K-ABCアセスメント学会の理事長でもいらっしゃいます。小野先生は、KABC-IIの理論的根拠であるCHC理論に着目し、WISCとのクロスバATTERYによる、より深い実態把握の方法についてご研究されています。さらに、発達障害児のみならず、被虐待児等、愛着の発達に問題を有する子供たちの認知特性についても、様々な知見をお持ちです。今回の話題提供では、検査によるアセスメントを通した、より深い子供理解について示唆に富んだお話をさせていただけると期待しております。



プログラム	
10:30 10:40	開会挨拶 小林玄 (東京学芸大学)
10:40 11:40	基調講演 上野一彦 (東京学芸大学名誉教授)
12:40	シンポジウム 新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～ 話題提供 ・WISC-V 大六一志 (元筑波大学教授) ・ <b>KABC-II</b> <b>小野純平 (法政大学教授)</b> ・Vineland-II 黒田美保 (田園調布学園大学教授) ・ASIST学校適応スキルプロフィール 橋本創一 (東京学芸大学教授) 指定討論 上野一彦 (東京学芸大学名誉教授) 藤野博 (東京学芸大学教授)
16:10	閉会挨拶 橋本創一 (東京学芸大学)

### 【アセスメントに関わるご著書・論文等】

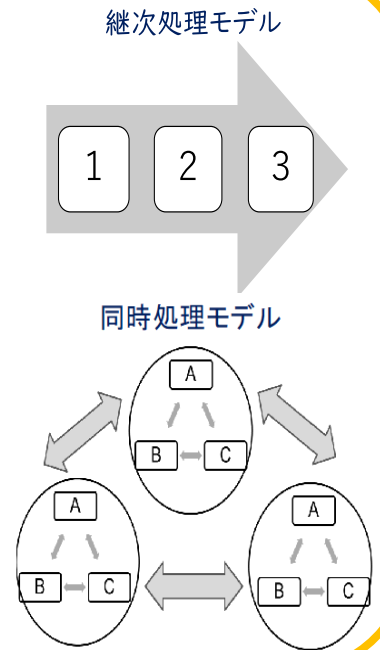
- ・「教育・学校心理学」子どもと子どもを取り巻く環境の理解:アセスメント(北大路書房)
- ・「現代心理学辞典」知能因子 知能指数の恒常性 知能の2因子説、多因子説ほか(有斐閣)
- ・「日本版KABC-IIにおけるカウフマンモデルとCHCモデルの選び方-2つの解釈モデルの特徴モデルの特徴と差異」K-ABCアセスメント研究21(1) 2019
- ・「新しい知能検査日本版WAIS-IVの特徴と臨床的活用」心と社会49(4) 2018
- ・「日本版KABC-II 心理教育アセスメントバッテリー」指導と評価64(7) 2018
- ・「KABC-IIと他の認知検査との関連について」K-ABCアセスメント研究 16(1)2015



小野先生には、  
シンポジウムの話題提供でご登壇いただきます

ユニークなアセスメントが可能なKABC-II

KABC-IIは、カウフマン夫妻によって開発されたアセスメントの第2版です。この検査は、2つの解釈モデルを持ち、多角的に子どもの実態把握をすることができます。カウフマンモデルでは、神経心理学のパイオニアであるルリヤの考え方の影響を受けており、人の認知処理を同時処理（全体的にまとめる）と継次処理（順番にまとめる）に大別して理解しようとするものです。なおKABC-IIから、学習尺度や計画尺度という他の検査にはないユニークな評価項目も追加されました。こうした認知処理の評価に加え、KABC-IIには習得度尺度という読みや書き、計算に関わる尺度が含まれていることも大きな特徴です。子どもの本来的な力である認知処理尺度と、現在の学習の状態である習得度尺度を比較することにより、子どもの実態をよりの確に把握することができます。また、もう一つの解釈モデルとしてCHC理論に基づくアプローチもあります。CHC理論は、WISC-Vの理論的基盤にもなっています。



事務連絡

第1号通信にてお知らせしました情報を再掲いたします。

《日程》2024(令和6)年1月21日(日曜日) 《会場》日本教育会館 一ツ橋ホール +オンデマンド

《研究発表(ポスター発表)》 オンデマンド配信 《参加費》5,000円

《参加申し込み》

会場参加(定員700名) 2023年9月20日(水)~2024年1月5日(金)  
オンデマンド 2024年1月11日(木)~2024年2月12日(月)

会場参加の申込み  
め切が迫っております

参加費の納入期限 会場参加:2024年1月10日(水) オンデマンド:2024年2月12日(月)

※「参加費の納入」をもって、申し込み完了とします。

お申込みはこちらから → <https://conference.wdc-jp.com/jald/ws2023/participant>

《特別支援教育士(S.E.N.S, S.E.N.S-SV)資格更新ポイントのお知らせ》

特別支援教育士資格更新規程に基づいてポイントが付与されます。

領域:特別支援教育士資格更新規程第2条V領域 ポイント数:参加者…2P

本研究集会の参加者ポイントについては、・会場参加の方:会場受付での来場確認・オンデマンド参加の方:オンライン会場へのログイン記録をもとにして運営事務局から特別支援教育士資格認定協会に申請します。

次号の登壇者紹介はシンポジウム指定討論者の藤野博先生です。ご期待ください。この研究集会が、皆様にとって充実した学びの機会となること実行委員一同願っております。

